

令和4年度

家庭教育だより 中学生版

八千代市では、子供の発達段階に応じた保護者向けの家庭教育講演会を実施するなど、家庭教育の推進に取り組んでいます。



令和4年4月

発行 八千代市教育委員会生涯学習振興課



新年度がスタートしました！

この2年間の新型コロナ対策を意識しながら、新たな決意を胸に新年度をスタートさせたことでしょうか。各学校のホームページの子供たちの表情からも進級、進学喜びが伝わってきます。本来の学校生活が少しずつ戻りつつ、今まで通りではなく、新たな中学校生活が作り上げられていることを感じました。ご家庭で、今一度学校のホームページをご覧になっては

いかかでしょうか。新しい発見が見られると思います。

先月開催された選抜高校野球大会の開会式の選手宣誓は、力強い宣誓でした。今年の宣誓校は、選手全員でどんな内容にしたいか、どんな言葉を入れたいか出し合って決めたと聞きました。今おかれた状況を素直に表現し、自分たちの言葉としていることに感銘を受けますね。最近は個性のある、印象に残る宣誓が多く、惹かれます。

このことはご家庭でも取り入れられそうです。お子さんの考えを沢山聞いてみてください。

自我意識が芽生える思春期のこの時期に、大いに話が出来る雰囲気にながら、家族の一員として、ひとりの人間として尊重してお子さんに向き合いたいですね。家庭が楽しく、くつろげる場所であること、家族が互いに認め合い尊重し合える雰囲気は、子供も願っていることであり、自信を持たせ、自立を促します。

義務教育後半の3年間は、心も身体も急速に変化していきます。自立に向けて一緒に寄り添い、お子さんの理解者として共に成長していきましょう。



家庭教育講演会について

今年度も、家庭教育講演会を予定しています。子育てについて、今だからこそ考えておきたいことや心構えなどを学ぶチャンスです！

開催日時など、詳細が決まり次第、八千代市ホームページやチラシ・広報やちよや情報メールなどでお知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

「家庭教育通信」(Web上で発信)！

子育てをサポートしています(*^_^*)

家庭教育講演会のお知らせ、大人向け絵本の紹介や家庭学習についてなど、子育てのヒントをお届けしています。(八千代市HP→まちの情報→学び・生涯学習→家庭教育で検索)

過去の家庭教育通信はこちらから…

右の2次元コードでどうぞ →

市のホームページ(PC版)からは ↓

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/town/category00000347.html>



家庭教育に関する新着情報は、やちよ情報メールでもお知らせしています

出前講座で「子育てトーク」しませんか(〜♪

八千代市では、市の職員が講師として出前講座を行う「まちづくりふれあい講座」を実施しています。

子育ての分野では「ハッピー子育て講座」と「ザガズー広場」の2講座を設けており、参加した皆さんからは、子供の発達段階に合わせた親や家族の接し方・コミュニケーション能力の育て方や自分なりのリフレッシュ方法等について、情報交換をしたり学び合ったりする“子育てトーク”が好評を得ています。

お申し込み・お問い合わせは、

生涯学習振興課 ☎481-0309まで

「家庭教育」とは・・・親またはそれに準ずる人が、子供に対して家庭で行う教育のこと

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。

親（保護者）は、人生最初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家族や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的なマナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っています。

生活のリズムをつくる

中学生になると、部活動や勉強などで時間的に忙しくなって夜更かしをするなど、生活のリズムを崩してしまうことがあります。

子供が基本的な生活習慣を確立し、生活リズムをつくるためには、保護者の働きかけが大切です。

子供の話を聴く・感動を共有する

保護者の一方的な言葉の投げかけではなく、話し合う機会を持ち、子供の話を聴くことが大切です。また、会話の中から子供の思いや悩みをつかみ、状況に応じたアドバイスや親の考えを伝えることも大切です。

機会を捉えて学校行事などに参加して、子供と一緒に感動を共有することで子どもや学校への理解が深まり、お互いの信頼関係を築くことができます。

ほっとできる場所にする・子供をトラブルから守る

家庭は、学校から帰った子供がほっとできる場所にしたいものです。

子供の反抗的な言動に、動揺したり押しつけたりせずに、子供の心の奥に秘められた気持ちをくみ取り、温かく見守る心のゆとりを持つことも大切です。

スマートフォンが普及し、いつでも家族と連絡が取れるという安心感により、かえって子供の夜間外出に対する危機感が薄れていくことが考えられます。普段から子供とコミュニケーションを密にとるなど、子供の危険やトラブルから守る家のルールづくりが求められています。

つらい時には、
ひとりで我慢しないで、“SOS”を
出し、話を聞いてもらうなどして、
ご自身をいたわってください。

学校から全家庭に配布されているカード
「一人でなやまず、SOS」（名刺サイズ
両面刷り・カラー）には、親子共に使用
できる電話相談案内が記載されています。

今年度も、公民館で

家庭教育学級・家庭教育講座

開催を予定しています

家庭教育の一環として、公民館で家庭教育学級・家庭教育講座が開催されます。

日程や内容については、その都度、広報やちよや情報メール・学校からお配りするプリントなどでお知らせしています。

子育てや学校の気になることなど、気楽にいろいろおしゃべりしてみませんか？

お一人さまも大歓迎！

公民館でお待ちしています(^^) /